



2017  
八十二レポート  
HACHIJUNI REPORT  
[営業のご報告]

## ごあいさつ



取締役会長 山浦 愛幸



取締役頭取 湯本 昭一

平素より八十二銀行をご利用、お引立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は昭和6年の創立以来、地域の金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これらもひとえにお客さまや株主の皆様、そして地域の皆様の永年にわたるご支援の賜物と深く感謝しております。

当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、平成29年3月期の業績、営業内容をできるだけわかりやすくご紹介するため「八十二レポート2017」を作成いたしました。皆様のご参考にできれば幸いに存じます。

平成28年度のわが国経済は、前半は弱い動きが続きましたが、後半からは米国、欧州向けの自動車輸出の増加に加え、中国等アジア向けの高品質なスマートフォン需要の高まりを背景に、生産面は持ち直しました。

当行が営業基盤とする長野県経済においても、生産面では弱い動きが続いていた電子部品・デバイスが改善するなど、一般的に年度の後半にかけて持ち直しの傾向となりました。また設備投資は、年の半ばにかけて進行した円高などを背景に企業収益への影響を懸念し、当初の設備投資計画を下方修正する慎重姿勢もうかがえました。

こうした経済環境のもと、平成27年度から平成29年度までの3カ年を計画期間とする第30次長期経営計画「地域活力創造銀行への変革」を進めております。地方創生の重要性が高まるなか、「地域活力を創造する」「お客さま利便性を進化させる」「企業力を向上させる」の3つをテーマに掲げ、長野県の発展に向けて全力で取り組んでおります。「地域活力を創造する」とは、社会基盤を支える『まちづくり』と、産業発展の源泉となる『ひとづくり』に対して能動的に貢献していくことです。また「お客さま利便性を進化させる」とは、営業店端末のレベルアップやインターネットバンキングの機能充実・安全性向上等に取組み、頼りになる銀行を目指すことです。さらに「企業力を向上させる」とは、証券・リース・カード・保険業務等への踏み込みを強化し、事業フィールドを広げることにより金融機関としての収益力を強化していくことです。

皆様からのご期待にお応えできるよう、役職員一丸となって努力してまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
平成29年6月

### Profile

名称	株式会社八十二銀行	従業員数	3,178人
本店所在地	〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8	資本金	522億円
電話番号	026(227)1182	発行済株式数	511,103千株
創立	昭和6年8月1日	総資産	8兆6,423億円
拠点	国内 151店舗 本支店142(長野県内122) 出張所 9(長野県内 9) 店舗外現金自動設備 225ヵ所 海外 支店1(香港) 駐在員事務所 4 (大連、上海、バンコク、シンガポール)	純資産	6,913億円
		預金残高	6兆4,019億円
		貸出金残高	4兆9,108億円
		総自己資本比率 (国際統一基準)	連結20.62%(速報値) 単体20.03%(速報値)
			(平成29年3月31日現在)

### Contents

ごあいさつ	①
経営方針	②
地域活力創造に向けた取組み	③
CSR(企業の社会的責任)への取組み	④
法人のお客さまへ	⑤
個人のお客さまへ	⑦
業績ハイライト	⑨
経営の健全性	⑪
営業拠点のご案内	⑫
連結決算の状況	⑬
単体決算の状況	⑭
株式のご案内	⑮

① 注:本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

## 経営方針

経営理念 『健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する』

八十二銀行のありたい姿(長期ビジョン) 『日本の真ん中で輝いている銀行』

経済のグローバル化・高度化への対応、八十二銀行ならではの強みの確立、コンプライアンス・内部統制の強化など経営の質向上、職員がいきいきと輝く組織づくりなど、総合的な企業価値の向上に取組み、永続的に発展する銀行を目指します。

### 8つの輝き

八十二銀行の“輝く姿”を、お客さま、地域、財務、組織風土などの視点から「高いコンプライアンス意識」「地域・県民のよりどころ」「利用者の立場に立った業務運営」「職員一人一人がいきいきはつらつ、責任を持ちスピーディに行動」

「先進的で誇れるシステム」「健全そのもの、コンスタントで確実な収益体質」「確実・効率的で安心な事務・システム、事務態勢」

長期的経営指標

ROE:5%以上

第30次長期経営計画 『地域活力創造銀行への変革』  
(平成27年4月~平成30年3月)

当行は、平成27年4月より平成30年3月までの3年間を計画期間とする第30次長期経営計画「地域活力創造銀行への変革」を策定し、取り組んでいます。

### 地域活力を創造する

- 地域産業競争力の強化
- まちづくり・ひとづくりへの貢献

### お客さま利便性を進化させる

- お客さま接点の強化
- お客さま対応力の向上

### 企業力を向上させる

- 収益源の多様化
- 環境経営の深化
- 従業員の活躍フィールド拡大

目標とする経営指標(平成30年3月)

当期純利益  
(単体) **200億円**

連乗倍率  
(当期純利益) **1.2倍**

株主還元率 **40%**



## 地域活力創造に向けた取組み

八十二銀行グループは、地域産業の競争力強化のため、地域の発展につながる取組みを行っています。金融・非金融両面から地域の「ひとづくり」と「まちづくり」に貢献していきます。

### < 地域の「ひとづくり」への取組み >

#### 地方創生応援私募債

平成28年2月より、地域教育・文化施設への学校用品などの寄贈と、お客さまの資金調達を組み合わせた地方創生応援私募債を通じて、次世代を担う人材育成を支援しています。



取扱実績  
91件 / 65.6億円  
(平成28年度)

#### UIJターン就職促進

長野地域9市町村が取組む「長野地域UIJターン就職促進事業」のワークショップイベントを支援しました。参加した大学生に向け地元の魅力をPRし、UIJターン就職への関心を高める機会を創出することで、地域活力の源泉となる人材の確保や育成に向けた取組みをサポートしています。



#### 地方創生表彰

「平成28年度地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」として、政府より表彰を受けました。ALL信州観光活性化ファンドを通じて「WAKUWAKUやまのうち」への出資を主導し、山ノ内町の観光振興や空き店舗の有効活用などを支援した取組みが評価されました。



### < 地域の「まちづくり」への取組み >

#### 観光活性化サポート

平成27年3月に設立した「ALL信州観光活性化ファンド」は、平成28年12月に第3弾の投資を実行しました。

今後もファンドを地域活力創造の有効なツールとして活用し、県内の観光活性化への取組みをサポートしていきます。



#### 公衆無線LAN (Wi-Fi) サービス

ご来店いただくお客さまの利便性向上のため、平成29年2月から、長野県内10店舗に公衆無線LAN (Wi-Fi) を設置しています。

海外からのお客さまにもご利用いただけるよう、11言語に対応しています。



## CSR(企業の社会的責任)への取組み

当行は、「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念に掲げ、役職員一人ひとりがお客さま・地域社会の発展に貢献し、企業の社会的責任を果たしていくことが使命であると考えています。

### 「環境 人づくり企業大賞2016」で優秀賞を受賞

環境省が主催する「環境 人づくり企業大賞2016」で優秀賞を受賞しました。本表彰は、地球環境と調和した企業経営を実現し、環境人材の育成に係る取組みを行う企業を表彰するものです。当行の長年にわたる行員への環境教育や、行員及び家族の環境ボランティアへの参加が評価されました。



### 金融経済教育

地域貢献の一環で小・中・高等学校の児童・生徒の職場見学を積極的に受け入れています。経済の仕組みや銀行の役割などについての講義や、模擬紙幣を用いた紙幣の数え方の体験などを通じ、金融リテラシーの向上に貢献していきます。



### 「セイコーエプソン製の製紙機「ペーパーラボ」の導入

平成29年2月より、水を使わずに使用済みの紙を再生できる世界初の製紙機「ペーパーラボ」を導入しました。当行は開発段階から機密書類の廃棄と環境性についてセイコーエプソン様と意見交換を行い協力してきました。A4用紙の場合、1時間に約720枚が再生され、機密情報も完全に抹消されます。行内で使用済みの紙を再生することにより、紙資源の有効活用とCO2排出削減を図ります。



### 八十二留学生奨学金制度

教育分野における社会貢献と、取引先企業の海外事業展開を見据えた国際的な人脈づくりを目的に、平成24年度に創設しました。長野県内の大学院へ進学を志す諸外国からの留学生に対し、2年間奨学金を支給しています。

奨学生 延べ 15名 (平成29年3月末時点)



菁菁塾(せいせいじゅく：職員向け自己啓発用講座)では、中国出身留学生による中国語講座を開催。平成28年度より一般のお客さまも参加いただけるようになりました。

# 法人のお客さまへ

お客さまの経営パートナーとして、さまざまなライフステージに合わせた経営課題解決のお手伝いをしています。「地域活力創造銀行」を目指し、お客さまの事業をサポートしていきます。

## 創業・開業期

### 起業・創業支援

起業・創業に関心のあるお客さまをワンストップかつスピーディーに支援しています。平成28年7月に地域特化型購入型クラウドファンディング「CF信州」の取扱いを開始し、長野県の地域活性化に取組む事業者をサポートしています。またフェイスブック、グーグルでのSNS広告を開始し、長野県内での創業を希望する県内外のお客さまを幅広く支援しています。



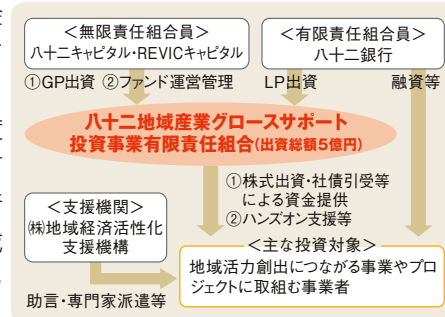
長野県内起業・創業支援件数 292件 (平成28年度)

## 成長・安定・成熟期

### 地域産業成長支援

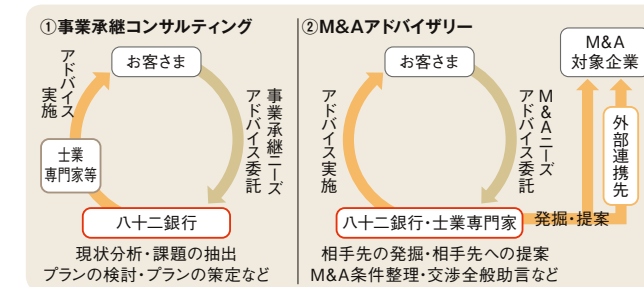
八十二キャピタル株式会社及び REVICキャピタル株式会社と共同で「八十二地域産業グロスサポートファンド」を設立し、地域活力創出につながる事業に取組むお客さまに対し金融支援を行っています。

平成28年度は2件/150百万円の投資を実行し、お客さまの成長をサポートしました。



### 事業承継・M&A

後継者への円滑な自社株式の承継や、戦略的な事業の選択と集中など、高度化する事業承継とM&Aニーズにお応えるため、専門的なサポートチームがワンストップでお客さまの課題解決をお手伝いしています。



## 経営改善・事業再生期

### 経営改善・事業再生支援

経営に課題を抱えるお客さまに対して、融資部企業支援室・調査グループと営業店が一体となり、経営改善計画の策定と実行を積極的に支援しています。

また、厳しい事業環境下にある中小企業の事業再生支援を強化すべく、「信州みらい応援2号ファンド」を設立し、経営改善をサポートしています。



## グローバル化への対応

### 資金調達のサポート

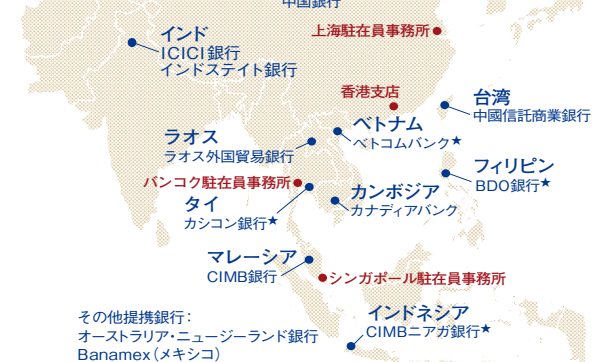
海外進出にあたっての資本金や、現地法人の設備投資、貿易代金の決済などお客さまのグローバル展開に伴う資金ニーズに、さまざまな方法で対応しています。

香港支店では、タイバーツ建、人民元建融資の取扱いなど、東南アジアや中国本土のお客さまに向けた直接融資(クロスボーダー融資)にも対応しています。



### 当行のアジア拠点と提携銀行

★当行の行員が常駐しています。



### アジア各国で“信州”をPR

アジア各国で商談会を開催し、お客さまの販路開拓支援を行っています。

国内ではJICA(国際協力機構)と連携し、海外進出に関する情報を提供するセミナーを実施しました。



香港美食商談会

### 〈主な取組み〉

開催年月	開催地	開催内容
平成28年10月	シンガポール	Food Japan 2016
平成28年11月	中国・大連	地方銀行合同ビジネス商談会
平成29年2月	香港	香港美食商談会
平成29年2月	タイ・バンコク	日タイビジネス商談会
平成29年2月	中国・上海	上海ビジネス交流会
平成29年3月	松本市	ODAを活用したアジア、アフリカビジネス展開セミナー



# 個人のお客さまへ

お客さま一人ひとりのライフステージに合わせた商品・サービスのご提供を通じ、生涯にわたる良きパートナーを目指します。

## 進学・就職

### 「新・八十二ゆとりプラン個人型」の取扱開始

個人型確定拠出年金「愛称：iDeCo」はセカンドライフに向けた資金を積み立てていただく新しい年金制度です。掛金が全額所得控除の対象になるなど節税が期待できます。当行では20商品の中から自由に商品を選んでいただけます。ご加入をご検討の際には、当行ホームページから「iDeCo シミュレーション」で節税メリットをご確認いただけます。



## 結婚・出産

### 疾病保障付住宅ローンのラインナップを拡充

共働きのご夫婦向けに「夫婦連生がん保障付住宅ローン」が加わりました。また、セカンドハウス・別荘ご購入などに大型フリーローンをご利用の際にも、充実した保障をお選びいただけます。長期にわたるローンだからこそ、もしもの時、返済を心配せずに治療に専念できる備えをおすすめします。



## 住宅取得

## 子ども進学

### 教育カードローンの取扱開始

入学金や授業料、仕送りなどお子さまの卒業までに必要な教育資金を、必要な時にその都度、ATMやインターネットバンキングでお借入れいただけます。お仕事などで平日のご来店が難しいお客さまにもご利用いただきやすくなりました。



## 退職・年金受取・相続

### 各種セミナーの開催

個人のお客さま向けセミナーを各地で開催しています。資産運用をはじめ、生活設計・家計見直しのヒント、相続や贈与など多彩なテーマで行っています。平成28年度下期は58回開催し、延べ約800名のお客さまにご参加いただきました。各地の82プラザでは税理士や弁護士による「相続個別相談会」を開催し、お客さまの多様なニーズにお応えしています。



## ～もっと便利に! もっと使いやすく!～

### 電子マネーチャージ(楽天Edy・LINE Pay・Yahoo! マネー)

当行預金口座から、LINE Pay や Yahoo! マネーに加え、楽天Edyへのチャージができるようになりました。

#### ●楽天Edyのお取引イメージ



#### ●LINE Payのお取引イメージ



#### ●Yahoo! マネーのお取引イメージ



### ホームページの全面リニューアル

「見やすい」「使いやすい」をコンセプトに、全ページのデザイン・構成・機能を見直すとともに、スマートフォンでの閲覧にも対応しました。また、「プラザ店舗の来店予約」「音声読み上げ」などの新機能を加えました。



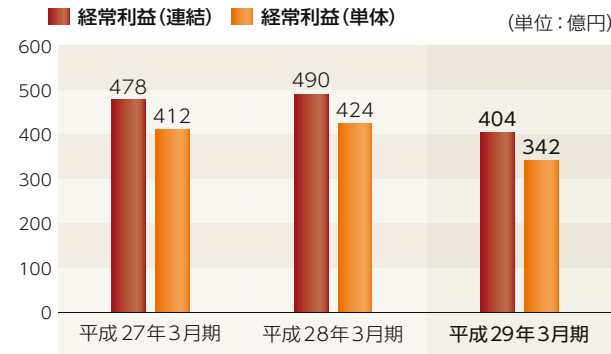
### 営業店端末システムの全面リニューアル

相談窓口新たに設置した「お客さま用ディスプレイ」を活用して、お客さまにわかりやすいご説明をするとともに、お客さまによる書類記入の負担を軽減します。



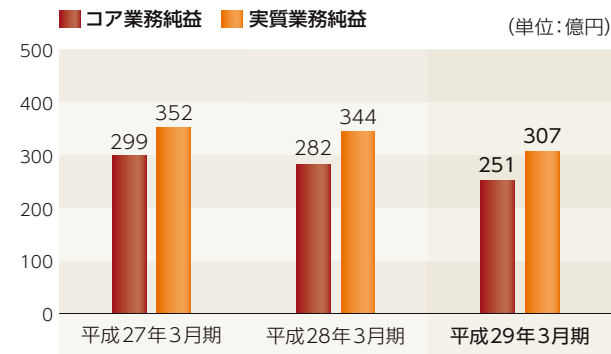
# 業績ハイライト

## ● 経常利益の状況



実質業務純益の減少のほか、貸倒引当金戻入益の減少などにより、経常利益(単体)は前期比82億円減少しました。

## ● コア業務純益・実質業務純益の状況

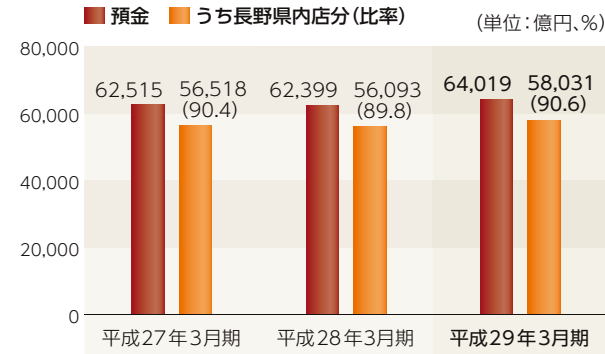


利回り低下による貸出金利の減少などにより、コア業務純益は前期比30億円、実質業務純益は同37億円減少しました。

[コア業務純益] 国債等債券損益を控除した業務粗利益から経費を差し引いたものです。一時的な要因に左右されない銀行本来業務の収益です。

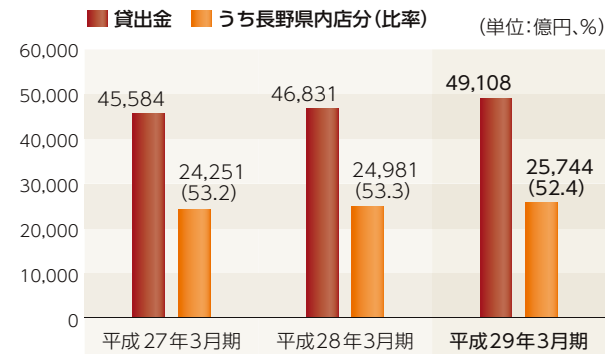
[実質業務純益] 業務粗利益から経費を差し引いたものです。

## ● 預金の状況



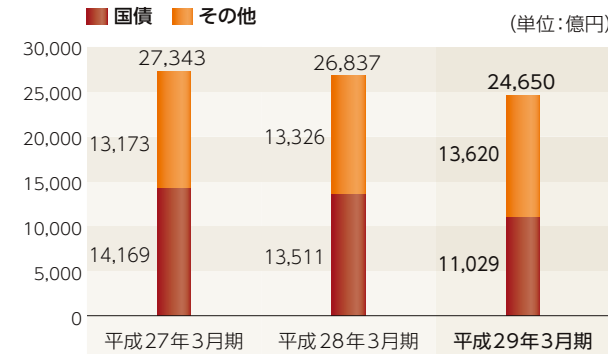
公金預金は減少したものの、個人・法人預金が増加したことから、前期比1,619億円増加し、6兆4,019億円となりました。

## ● 貸出金の状況



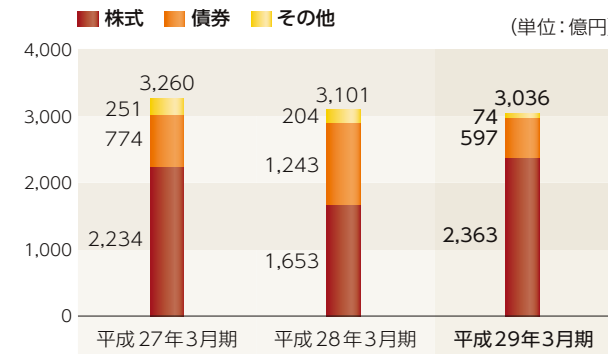
消費性、事業性、地方公共団体向け資金がいずれも増加したことから、前期比2,277億円増加し、4兆9,108億円となりました。

## ● 有価証券残高の状況



国債を含む債券及び外国証券の売却による減少などにより、前期比2,186億円減少し、2兆4,650億円となりました。

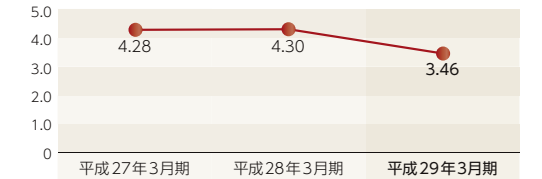
## ● 有価証券評価損益の状況



株式相場は上昇したものの、債券を売却したことなどにより、前期比65億円減少し、3,036億円となりました。

## 長期的経営指標

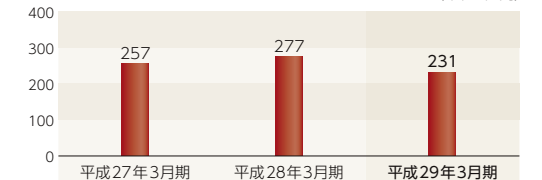
### ● ROE(株主資本利益率) 5%以上 (単位: %)



[ROE(株主資本利益率)] 企業の収益性を測る指標

## 目標とする経営指標(平成30年3月)

### ● 当期純利益(単体) 200億円 (単位: 億円)

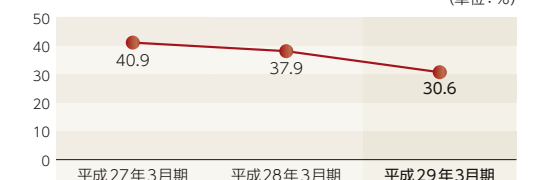


### ● 連単倍率(当期純利益) 1.2倍 (単位: 倍)



[連単倍率] 親会社の単独決算の利益に対する連結決算の利益の割合

### ● 株主還元率 40% (単位: %)

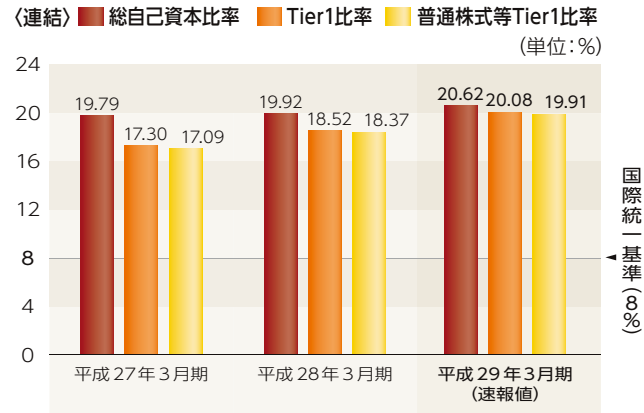


[株主還元率] 事業活動によって得た利益を、配当などの形でどれくらい株主に還元しているかを示す指標

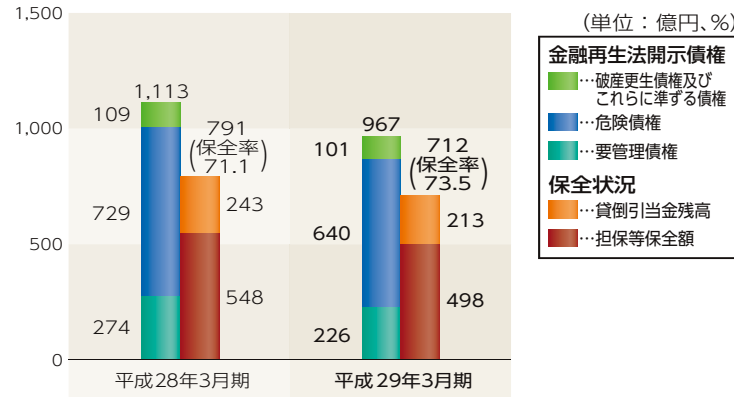
# 経営の健全性

## ● 連結自己資本比率 (国際統一基準) の状況

自己資本比率は金融機関の健全性を測る指標のひとつです。バーゼルⅢに基づく自己資本比率規制 (国際統一基準) では、総自己資本比率が8%以上必要とされています。当行の総自己資本比率 (平成29年3月期、速報値) は、連結で20.62%となり、規制水準である8%を大きく上回っています。



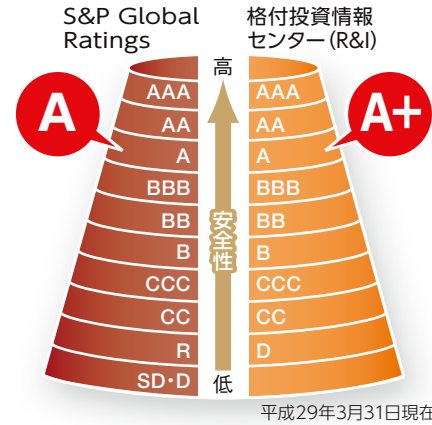
## ● 金融再生法開示債権と保全状況



(注) 1. 金融再生法開示債権は対象が貸出金のほか、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、保証付私募債となっています。なお、部分直接償却は実施していません。  
2. 上記の開示額は、差入れられた担保などによる回収を考慮していませんので、当行の将来の損失をそのまま表すものではありません。

## ● 格付

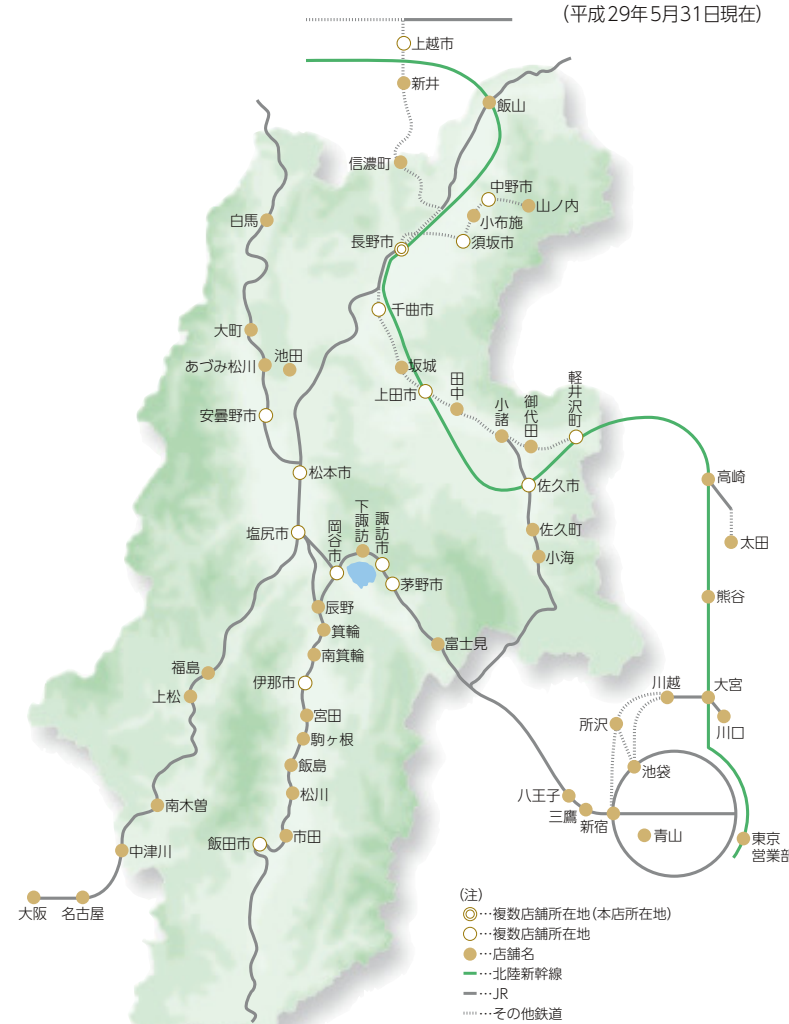
当行は長期格付について、S&P Global Ratingsから「A」(金融債務を履行する能力は高い)を、格付投資情報センター(R&I)から「A+」(信用力は高く部分的に優れた要素がある)の格付を取得しており、当行に対する高い評価を示しています。



	平成28年3月期	平成29年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	109 (0.23)	101 (0.20)
危険債権	729 (1.53)	640 (1.28)
要管理債権	274 (0.57)	226 (0.45)
小計	1,113 (2.34)	967 (1.94)
正常債権	46,326	48,744
総与信残高	47,439	49,711

( )内は、総与信残高に占める比率

# 営業拠点のご案内



## 複数店舗所在地一覧

- **長野市**  
本店営業部、長野、県庁内、大門町、昭和通営業部 (82プラザ)  
長野駅前、長野東、七瀬、吉田 (三才 [出])、長野南、長野北  
東和田、長野市役所、浅川若槻 (82プラザ)、朝陽、風間、安茂里  
豊野、新町、若穂、南長池、更北、川中島、松代、篠ノ井  
今井 (82プラザ)
- **須坂市**  
須坂 (須坂駅前)、須坂市役所 [出]
- **中野市**  
中野、中野西
- **千曲市**  
屋代、稲荷山、上山田、戸倉
- **上田市**  
上田、上田市役所 [出]、花園 [出]、上田東 (82プラザ)、丸子  
三好町、塩田、川西、神科、真田
- **軽井沢町**  
中軽井沢、軽井沢
- **佐久市**  
岩村田、佐久市役所 [出]、中込、野沢、佐久中央 (82プラザ)  
臼田、望月
- **松本市**  
松本営業部、松本市役所 [出]、松本駅前、深志、清水 [出]  
南松本 (82プラザ)、村井、平田、寿、信州大学前、惣社  
西松本、笹賀、つかま、浅間温泉、波田、梓川  
ローンプラザ松本
- **安曇野市**  
明科、三郷、豊科、穂高、ローンプラザ安曇野
- **塩尻市**  
塩尻、塩尻西、広丘 (82プラザ)
- **岡谷市**  
岡谷 (82プラザ)、岡谷市役所 [出]、長地
- **諏訪市**  
諏訪 (上諏訪駅前)、諏訪南 (82プラザ)
- **茅野市**  
茅野、茅野駅前
- **伊那市**  
伊那、伊那市役所 [出]、伊那市駅前、伊那北、高遠  
ローンプラザ伊那
- **飯田市**  
飯田、飯田駅前、伝馬町 (82プラザ)、八幡 (飯田東)、天竜峡  
上郷、鼎、伊賀良
- **上越市**  
高田、直江津、潟町、ローンプラザ上越

## 海外拠点

香港支店、大連駐在員事務所、上海駐在員事務所  
バンコク駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所



# 平成29年3月期 連結決算の状況

## ● 連結貸借対照表(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	885,456	預金	6,390,778
コールローン及び買入手形	100,485	譲渡性預金	502,283
買入金銭債権	60,836	コールマネー及び売渡手形	3,594
特定取引資産	15,444	債券貸借取引受入担保金	596,632
金銭の信託	61,651	特定取引負債	4,735
有価証券	2,459,732	借入金	234,613
貸出金	4,864,144	外国為替	1,572
外国為替	24,756	その他負債	105,337
リース債権及びリース投資資産	63,583	退職給付に係る負債	12,058
その他資産	112,716	睡眠預金払戻損失引当金	879
有形固定資産	38,056	偶発損失引当金	1,112
無形固定資産	5,221	特別法上の引当金	8
退職給付に係る資産	23,689	繰延税金負債	74,468
繰延税金資産	2,088	支払承諾	32,218
支払承諾見返	32,218	<b>負債の部合計</b>	<b>7,960,293</b>
貸倒引当金	△ 46,233	<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	52,243
		資本剰余金	34,516
		利益剰余金	427,451
		自己株式	△ 3,154
		<b>株主資本合計</b>	<b>511,056</b>
		その他有価証券評価差額金	212,936
		繰延ヘッジ損益	△ 9,979
		退職給付に係る調整累計額	2,801
		その他の包括利益累計額合計	205,758
		新株予約権	343
		非支配株主持分	26,396
		<b>純資産の部合計</b>	<b>743,555</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>8,703,848</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>8,703,848</b>

## ● 連結損益計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>209,160</b>
資金運用収益	85,877
(うち貸出金利息)	(48,331)
(うち有価証券利息配当金)	(34,494)
信託報酬	2
役務取引等収益	20,267
特定取引収益	1,735
その他業務収益	88,515
その他経常収益	12,761
<b>経常費用</b>	<b>168,739</b>
資金調達費用	11,852
(うち預金利息)	(3,819)
役務取引等費用	6,910
その他業務費用	77,489
営業経費	66,081
その他経常費用	6,405
(その他の経常費用)	(6,405)
<b>経常利益</b>	<b>40,421</b>
特別利益	2
特別損失	801
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>39,622</b>
法人税、住民税及び事業税	11,505
法人税等調整額	322
<b>法人税等合計</b>	<b>11,827</b>
<b>当期純利益</b>	<b>27,794</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	1,482
親会社株主に帰属する当期純利益	26,312

### 八十二銀行グループ

- ◆ 八十二ビジネスサービス(株) (事務代行業務)
- ◆ 八十二スタッフサービス(株) (労働者の派遣業務)
- ◆ 八十二証券(株) (有価証券の売買等)
- ◆ 八十二信用保証(株) (信用保証業務)
- ◆ やまびこ債権回収(株) (債権管理回収業務)
- ◆ 八十二リース(株) (リース業務)
- ◆ (株)八十二ディーシーカード(クレジットカード業務)
- ◆ 八十二システム開発(株) (システム開発)
- ◆ 八十二キャピタル(株) (投資業務)
- ◆ 八十二オートリース(株) (リース業務)

# 平成29年3月期 単体決算の状況

## ● 貸借対照表(平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>(資産の部)</b>	
現金預け金	870,307
コールローン	100,485
買入金銭債権	60,836
特定取引資産	15,444
金銭の信託	61,651
有価証券	2,465,065
貸出金	4,910,882
外国為替	24,756
その他資産	88,021
有形固定資産	30,228
無形固定資産	4,816
前払年金費用	17,474
支払承諾見返	32,218
貸倒引当金	△ 39,856
<b>資産の部合計</b>	<b>8,642,332</b>

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>(負債の部)</b>	
預金	6,401,969
譲渡性預金	515,883
コールマネー	3,594
債券貸借取引受入担保金	596,632
特定取引負債	4,735
借入金	226,963
外国為替	1,572
その他負債	83,202
退職給付引当金	9,746
睡眠預金払戻損失引当金	879
偶発損失引当金	1,112
繰延税金負債	72,473
支払承諾	32,218
<b>負債の部合計</b>	<b>7,950,983</b>
<b>(純資産の部)</b>	
資本金	52,243
資本剰余金	32,601
資本準備金	29,609
その他資本剰余金	2,992
利益剰余金	406,979
利益準備金	47,610
その他利益剰余金	359,368
固定資産圧縮積立金	920
別途積立金	327,600
繰越利益剰余金	30,848
自己株式	△ 3,154
<b>株主資本合計</b>	<b>488,669</b>
その他有価証券評価差額金	212,314
繰延ヘッジ損益	△ 9,979
評価・換算差額等合計	202,335
<b>新株予約権</b>	<b>343</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>691,348</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>8,642,332</b>

## ● 損益計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>169,558</b>
資金運用収益	85,579
(うち貸出金利息)	(48,209)
(うち有価証券利息配当金)	(34,373)
信託報酬	2
役務取引等収益	16,839
特定取引収益	134
その他業務収益	54,565
その他経常収益	12,437
<b>経常費用</b>	<b>135,352</b>
資金調達費用	11,787
(うち預金利息)	(3,820)
役務取引等費用	8,804
その他業務費用	47,932
営業経費	60,488
その他経常費用	6,339
<b>経常利益</b>	<b>34,205</b>
特別利益	0
特別損失	798
<b>税引前当期純利益</b>	<b>33,407</b>
法人税、住民税及び事業税	9,869
法人税等調整額	363
<b>法人税等合計</b>	<b>10,233</b>
<b>当期純利益</b>	<b>23,173</b>



# 株式のご案内

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日
- **定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。
- **1単元の株式数** 100株
- **単元未満株式の買取・買増制度** 単元未満株式(1~99株)について、買取制度および買増制度を実施しております。単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、また、特別口座に記録されている場合は右記までお問い合わせください。
- **配当金** 期末配当金は定時株主総会終了後、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、それぞれ期末配当金・中間配当金基準日の株主等にお支払いいたします。
- **基準日** 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日  
そのほか必要があるときは、基準日をあらかじめ公告いたします。
- **公告方法** 電子公告により当行ホームページに掲載いたします。  
公告掲載URL <https://www.82bank.co.jp/>  
(事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。)

## 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先(注)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

(注)株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日以降の連絡先は以下となります。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## お電話でのお問い合わせ・ご相談

八十二のハローはち  
電話 **0120-82-8682** (通話料無料)

音声ガイダンスにより操作してください。  
★携帯電話からもご利用いただけます。

- ◆ **商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談**  
サービス内容により受付時間が異なります。
- ◆ **当行へのご意見・ご要望・苦情**(お客さま相談室)  
受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
- ◆ **金融円滑化相談時の苦情**(金融円滑化苦情窓口)  
受付時間/9:00~17:00  
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)

銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口(金融分野における裁判外紛争解決制度)

### ■全国銀行協会相談室

電話 0570-017109 または 03-5252-3772  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:00

### ■証券・金融商品あっせん相談センター

電話 0120-64-5005  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:00

### ■信託協会信託相談所

電話 0120-817335 または 03-6206-3988  
受付日/月~金曜  
(祝日及び銀行の休業日を除く)  
受付時間/9:00~17:15



平成29年6月発行/編集:八十二銀行 企画部

〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8 電話(026) 227-1182

<https://www.82bank.co.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した  
植物性インキを使用しています。



ミックス  
責任ある木資源を  
使用した紙

FSC® C008865